

自己評価・外部評価・運営推進会議活用ツール

名前()

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
I. 理念・安心と安全に基づく運営							
1	理念の共有と実践	地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職員の目に入る場所に掲示されており理念を共有できている。			
2	事業所と地域とのつきあい	事業所は、利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、認知症の人の理解や支援の方法などを共有し、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	新型コロナウイルス影響で現在は地域との交流は少ないが事業所会議の際に支援する方法はないか検討している。	コロナ禍ということで地域との交流も大事だが利用者の健康管理に気を付けてもらいたい。関わりを持つために具体的に行政や地域との付き合いを行ってはどうか。		
3	運営推進会議を活かした取り組み	運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	運営推進会議では利用者状況、行った行事、起こったアクシデントについて報告しており、そこでいただいた意見を参考にしながらサービスの質を向上できるよう検討している。	運営推進会議での利用者の言葉は「良くしていただいています」などで意見、要望をもっと出せる雰囲気づくりをしてはどうか。		
4	市町村との連携	市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日頃から密に連絡を取り合うことはできておらず、制度の改定時など何かあった時のみである。	会議で市の職員も参加しているので具体的にどんな話をしているのかを教えて欲しい。		
5	身体拘束をしないケアの実践	代表者および全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	身体拘束等適正化マニュアルの作成と毎月身体拘束等適正化委員会の開催、施設内研修により理解を深めている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	マニュアルを適宜更新し研修等を引き続き行ってください。
6	虐待の防止の徹底	管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	施設内研修を定期的に行い、高齢者虐待や不適切なケアについて学び、不適切なケアが虐待に繋がらないようケアについて事業所会議で話し合っている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	評価が十分にできているとなっているがいつ暴言や暴行がおきる事が世間ではあるため気を付けて欲しいです。
7	権利擁護に関する制度の理解と活用	管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	施設内研修を定期的に行っているが現在は対象者がいない。			

8	契約に関する説明と納得	契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	契約の際に不安が解消できるよう丁寧に説明をすることを心掛けており法改定などで料金等が変わる際には、事前に書面と口頭で説明し理解を得られるよう努めている。			
9	運営に関する利用者、家族等意見の反映	利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	面会に来られた際などにご要望があれば聞いている。外部者へ表せる機会は憩カフェや運営推進会議が開催できておらず、できてはいない。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
10	運営に関する職員意見の反映	代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	月1回の事業所会議の際に職員からの話を聞き、運営や利用者のケアの質が向上するよう話し合っている。			
11	就業環境の整備	代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	年に1回職員の面談を行っており、その際に聞き取った職員の「こうなりたい」に近づくことができるようサポートしている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
12	職員を育てる取り組み	代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	現在コロナウイルスの流行により外部の研修には参加することができないが、看取りの研修を小豆畑病院の医師に依頼するなど専門的な知識を学ぶ機会を作れるよう研修計画を考えている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
13	同業者との交流を通じた向上	代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナウイルスの流行により外部との交流ができていない。流行が終息した際には、憩カフェを通じてなど他事業所との関わりが持てればと考えている。			
14	本人と共に過ごし支えあう関係	職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	洗濯物をたたんでもらうなどできることは一緒に行っている。			
15	馴染みの人や場との関係継続の支援	本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ禍により家族友人等の面会の機会が減ってしまっているが感染流行状況をみながら面会や外出の検討を行っている。	今外出できないのはしょうがないが、感染流行状況次第で予防をしながら面会や外出の機会を増やして欲しい。		

Ⅱ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント							
16	思いや意向の把握	一人ひとりの思いや暮らし方、生活環境、一日の過ごし方の希望や意向の把握に努めている。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	普段の会話の中で得た情報を職員同士で共有したり生活歴を考慮し本人らしく生活できるよう努めている。			
17	チームでつくる介護計画とモニタリング	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	管理者と担当職員でモニタリングを行い事業所会議等で意見を出し合いながらケアプラン作成を行っている。	コロナ禍ではあるが家族の意見をもっと繁榮して欲しい。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
18	個別の記録と実践への反映	日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	気が付いたことを細かく記録し、職員間で情報共有し見直しが行いやすいよう重要な事は業務日誌に記載している。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職員の間で情報共有していただいている事はありがたいです。家族にも共有できることがあればうれしいです。
19	一人ひとりを支えるための事業所の多機能化	本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	家族との面会のための自宅への送迎やお昼に刺身を提供するなど行っているがすべての方にできてはいない。	コロナ禍によりニーズがより多様化すると思うが柔軟な支援に取り組んでほしい。		
20	地域資源との協働	一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ禍により床屋、マッサージ、ボランティアなど中止になっている。			
21	かかりつけ医の受診支援	受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人、家族と共に訪問診療医の話を聞いて納得いただいたうえで訪問診療への切り替えを行っている。			
22	入退院時の医療機関との協働	利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	病院関係者、本人、家族と退院計画を話し合いながら早期退院できるよう調整している。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	

23	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援	重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	重度化した場合に憩の杜でできる事できない事を契約時に説明し、終末期が近くなった際にも説明を行い本人、家族の希望を聞きながら看取りや入院等の支援をしている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
24	急変や事故発生時の備え	利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	定期的に勉強会を開催しているが急な事だと焦ってしまう職員もいるかもしれないので今後も訓練を行う必要がある。			
25	災害対策	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	年2回の火災を想定した避難訓練を行っているが地震等の自然災害を想定した訓練はできていない。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	東日本大震災があったのでその時の行動を参考に9月防災の日には必ず実施すべきと思います。
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援							
26	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保	一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	誇りやプライバシーなどを損ねないよう対応に気を付けているが敬語を忘れて声をかけてしまう時もある。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	言葉遣いや対応方法について施設内で研修を行う機会を設けてはどうでしょうか？
27	日々のその人らしい暮らし	職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりの日常生活における希望や意向、暮らしのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	食事の時間等1日の流れが決まってしまうが余暇時間に関しては自由に過ごしてもらえるように配慮している。			
28	食事を楽しむことのできる支援	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	月2回に選択食で好きなものを選んで食べられる機会を作っている。また、おかずの摂取量が少ない方に月に1度刺身を提供しているがすべての方に提供できているわけではない。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	食事は楽しみの一つだと思うので、好みの物を提供できるよう検討してみてもどうか。
29	栄養摂取や水分確保の支援	食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	管理栄養士による献立作成、委託業者による調理によりバランスの取れた食事を禁食や食事形態を個人に合わせて提供することができている。			
30	口腔内の清潔保持	口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人の拒否等もあり毎食後は行えていないが夕食後の口腔ケアと義歯洗浄剤の管理を行っている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	

31	排泄の自立支援	排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援、便秘の予防等、個々に応じた予防に取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	排泄チェック表を記入し排泄のパターンを把握しトイレ誘導や声掛けを行い、トイレでの排泄を継続できるよう目指している。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
32	入浴を楽しむことができる支援	一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	週2回入浴する日程や時間が決まってしまうが、本人が入りたくない時などは翌日にずらすなどしている。			
33	安眠や休息の支援	一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	消灯時間は決まっておらず本人の習慣に合わせて就寝してもらっている。昼夜逆転にならないよう昼寝の時間が長い場合などは声掛けをし離床を促している。			
34	服薬支援	一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	薬情により薬の種類や副作用について把握に努めているがすべての薬と副作用を覚えるまでには至っていない。服薬管理は職員が対応し飲み忘れ等がないよう努めている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
35	役割、楽しみごとの支援	張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	散歩やドライブなどは習慣的に行っているが趣味の継続が認知症の進行やコロナウイルスの影響で行えなくなっている。			
36	日常的な外出支援	一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎週日曜日のドライブと天気のいい日に施設周辺の散歩は行っているがコロナウイルスの影響で外食や自宅への外出などができなくなっている。	コロナ禍で難しい状況ではあるが、定期的な外出支援を続けて欲しい。		
37	お金の所持や使うことの支援	職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	安全のため事務所の金庫にてお金を預かっており必要な物があれば買い物支援をしている。現在はコロナウイルスの影響で職員が代行で買い物をしている。			

38	電話や手紙の支援	家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	<p>Ⓐ. 十分にできている</p> <p>Ⓑ. ほぼできている</p> <p>Ⓒ. あまりできていない</p> <p>Ⓓ. ほとんどできていない</p>	個人携帯や事業所の電話にて家族に電話したり、家族からの電話などで対応している。また、3月よりオンライン面会を開始し遠方や海外の家族とも連絡が取れるようになった。			
39	居心地のよい共用空間づくり	建物内部は一人ひとりの身体機能やわかる力を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。共用の空間が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、一人ひとりが居心地よく過ごせるような工夫をしている	<p>Ⓐ. 十分にできている</p> <p>Ⓑ. ほぼできている</p> <p>Ⓒ. あまりできていない</p> <p>Ⓓ. ほとんどできていない</p>	フロア内に季節の花や飾り付けをしている。共有スペース窓側に椅子を置き外の花を眺めたりできるようにしている。		<p>Ⓐ. 十分にできている</p> <p>Ⓑ. ほぼできている</p> <p>Ⓒ. あまりできていない</p> <p>Ⓓ. ほとんどできていない</p>	
IV. 本人の暮らしの状況把握・確認項目(利用者一人ひとりの確認項目)							
40	本人主体の暮らし	本人は、自分の思い、願い、日々の暮らし方の意向に沿った暮らしができている	<p>Ⓐ. 十分にできている</p> <p>Ⓑ. ほぼできている</p> <p>Ⓒ. あまりできていない</p> <p>Ⓓ. ほとんどできていない</p>	思いなど意向に沿った暮らしはコロナウイルスの影響もありできていない。			
41		本人は、自分の生活歴や友人関係、暮らしの習慣、特徴など様々な情報をもとに、ケア・支援を受けることができている	<p>Ⓐ. 十分にできている</p> <p>Ⓑ. ほぼできている</p> <p>Ⓒ. あまりできていない</p> <p>Ⓓ. ほとんどできていない</p>	家族や友人と自由に会えない。自由な生活がしたい。			
42		本人は、自分の健康面・医療面・安全面・環境面について、日々の状況をもとに、ケア・支援を受けることができている	<p>Ⓐ. 十分にできている</p> <p>Ⓑ. ほぼできている</p> <p>Ⓒ. あまりできていない</p> <p>Ⓓ. ほとんどできていない</p>	食事や暮らしの面で職員が日々の状況をよく把握し支援に取り組み、変化等があれば主治医や訪問看護と連携を取って早期に対応できるようにしている。		<p>Ⓐ. 十分にできている</p> <p>Ⓑ. ほぼできている</p> <p>Ⓒ. あまりできていない</p> <p>Ⓓ. ほとんどできていない</p>	
43	生活の継続性	本人は、自分のペースで、これまでの暮らしの習慣にあった生活ができている	<p>Ⓐ. 十分にできている</p> <p>Ⓑ. ほぼできている</p> <p>Ⓒ. あまりできていない</p> <p>Ⓓ. ほとんどできていない</p>	時間でやる事が決まっているため自分のペースではできていない。			
44		本人は、自分のなじみのものや、大切にしているものを、身近(自室等)に持つことができている	<p>Ⓐ. 十分にできている</p> <p>Ⓑ. ほぼできている</p> <p>Ⓒ. あまりできていない</p> <p>Ⓓ. ほとんどできていない</p>	家族に依頼し自宅にあったもの、使用していたものを準備してもらい居室などに置いている。		<p>Ⓐ. 十分にできている</p> <p>Ⓑ. ほぼできている</p> <p>Ⓒ. あまりできていない</p> <p>Ⓓ. ほとんどできていない</p>	

45		本人は、自分の意向、希望によって、戸外に出かけることや、催(祭)事に参加することができる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	散歩やドライブは出来ているがコロナウイルスの影響で外出や催事には行けていない。			
46		本人は、自分ができること・できないこと、わかること・わからないことを踏まえた、役割や、楽しみごとを行うことができる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	行事に参加したり、洗濯物をたたんでもらうなどしている。できないことも職員と一緒に رفتりなど工夫している。			
47	本人が持つ力の活用	本人は、自分がいきいきと過ごす会話のひと時や、活動場面を日々の暮らしの中で得ることができる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	他の利用者様同士での会話また、体操などいきいきと過ごすことができる。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
48		本人は、自分なりに近隣や地域の人々と関わったり、交流することができる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナウイルスの影響により地域との交流は中止になっている。			
49	総合	本人は、この GH にいることで、職員や地域の人々と親しみ、安心の日々、よりよい日々をおくることができる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	地域の方との交流はコロナウイルスの影響でできていないが、利用者様よりここにいた方が安心という言葉が出ることもある。	利用されている方が安心して生活できる環境を作られていると思う。自宅に戻った時、施設に帰るという言葉聞き、自分の居る場所となったんだと感じました。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	